

テーマ「感謝の心を寄せ合って 一手一つにひのきしん」



全教一斉

4月29日

ひのきしんデー

それぞれの支部・組・班の皆さんに、もれなく声をかけて多くの方と、ひのきしんデーを勇んで努めましょう。



北海道教区報

第546号

発行所

天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11丁目
電話011(561)-1148
FAX011(561)-1190

E-mail:kyouku-h@vega.ocn.ne.jp

印刷

三浦印刷株式会社

★道外の方にも参加を呼びかけましょう。全国の会場は、天理時報及び天理教ホームページで公開されています。※地域によって日程が変更の所がありますのでご確認下さい。

北海道教区学生会 春の学生おぢばがえり

学生30名 学担・スタッフ17名 計47名参加



参加者8名

3月19日
俱知安支部・教区青年会
タイアップ
「YYPニセコ
海外布教」実施

《立教181年
北海道会場開催日程》
…開催時刻はいずれも13:30から…
5月16日(水)教務支庁会場
7月7日(土)教務支庁会場
9月16日(日)網走支部会場
10月7日(日)天龍支部会場
11月11日(日)教務支庁会場
【追加会場については、随時発表していきます】

北海道教区のホームページ〈<http://tenrikyohk.wixsite.com/tenrikyo-hk>〉教区報がご覧頂けます。



教祖を思つて 人様の助かりを願つて 北の都を もくもくと歩んだ一年間 二人の布教師門出を迎える

多くの方々に、声をかけて頂き、大きな
励みとすることが出来ました。
ひたすら歩んだ日を忘れません。
…3月27日、おぢばで待望の卒業を迎える…

退寮あいさつ

●三代拓己

(笠岡・米府)

私はここに来るまで布教経験がほとんど無く、むしろ苦手の部類でした。全く知らない人の家へ伺い、天理教ですと言えば冷たくあしらわれる。誰だってそんな扱いされたくないものです。こんな日々を送って一体なんの意味があるんだよ…、と自問自答することが本当に多かったです。

もともと布教の家を薦めて下さったのは上級の会長様ですが、最終的にここに来ようと決めたのは自分です。布教の厳しさを自分から求めているのに不足をする日々が続

きました。ですが、自分が今お道を通らせて頂いているのも先代の方々のこうした苦勞のお陰だと思えば、同じような経験をさせて頂けることに少しづつ感謝出来るようになりました。怒鳴られ叱られ、その時は心が痛くとも、時間が経てばいい経験だなと思えます。

この一年で布教師としての一步を踏み出せました。時代を担うようぼくとして、これからも精進していきます。

「一年間ありがとうございました。」

●久米田忠義

(郡山・北盛)

皆様、こんにちは。3月27日をもって無事に卒業させて頂く事が出来ました。これも、教区長先生、寮長先生、教区の先生方のおかげです。ありがとうございます。ございました。

とても長い一年でした。ですがとても勉強にもなった一年になりました。

思い出の一つは、神名流しをさせて頂いてた時に通行人の方に怒られたことがあります。その日の練り合いで色々とお知らせからどうしようと考えていま

た。まずは寮長先生に電話をかけてみようと思ひ、話を伺うと寮長先生から、

「まずは二十一回怒られてから考えようか」という言葉が帰ってきました。

「教祖のことを思えば、一回くらい怒られただけでよくよするな」と私は受け取りました。

教祖にもたれている寮長先生の信仰姿勢と、一回注意されただけで折れそうになる自分自身の中身の無い信仰姿勢。私は反省すると共にとても勉強になりました。

これからもをいがけに歩けるよう、北海道寮での一年を大事にしていきたいです。一年間本当にありがとうございました。

教区婦人会

支部主任研修会開催

去る3月4日、荒天のため日程をずらして、立教181年の支部主任会議を開催し、全道から集った27の支部主任と、本年の活動について連絡があり、練り合いがもたれた。

10時よりおつとめ、続いて神殿で教区長様からご挨拶を頂きました。その後、3階に移動し、教区主任の挨拶、そして各担当者



が母親講座、ままつぶ、miss さくら会、女子青年しらゆき会、会計などの昨年の報告と本年の活動について説明と発表をさせて頂きました。次いで山本主任から、8月31日に開催される委員長講習会に、中山はるえ婦人会長様がお越しになる経

緯と内容の説明がありました。婦人会長様のお入り込みを頂き、お言葉を頂戴するという、有り難い、喜びの日を迎えるために、全道の委員長が欠けることなく参加できるように、それぞれの支部で、丹精、声かけをしましょうと練り合いをし、嬉しい有難い研修会となりました。

何不自由もない平凡な会社勤めをしていた人がいて、その家族は妻と小学校に通う一人息子の3人であった。ところがその家族に突然予期しない事が起こった。

それは可愛い息子が急に難病に冒されたのだ。医師の診断では全治するのはなかなか難しいとの事であった。悲嘆に暮れていた時、縁があつてある人よりこの道の信仰の話を聞かされて入信された。

私達の人生は実際何が起きるかわからない。誰もが思いもよらぬ事が起こると想定することなく、自分の計画通りの人生設計をしているがそうはいかない。人それぞれに自分だけではない運命が立ちはだかつているのである。

その当日、教会の会長が来られて親神様のお目標を祀られておつとめを勤められた後で、この人は、

「私は子供の病気が救かる事は願っていますが、今日からの私の信仰は、子供の病気が治る治らないに関係なく続けますよ。このお道のお話を聞かせて頂く内に、人間の生命の歴史は生まれてから死ぬまでではなく、魂は生まれ変わりに変わります。魂は生まれ変わりに変わります。魂は生まれ変わりに変わります。」

教理随想 (二十二)

運命を悟る

木岡 昭

みかぐらうたのなかに「欲のないものなけれども神の前には欲はない」とあるが、これは誰もが生きていく限り、欲のある事はあたりまえだが、神に祈りその教えを実践する時には、欲を離す心でなければならぬという意味である。

だから「欲があるならやめてくれ神の受けとりでけんから」とも仰せられている。

私達の信仰の大切な事は、この世、人間を創められた絶対の親神様が、陽気ぐらしの出来る唯一の生き方の教えである天理の原理を指し示されたのであるから、自分の欲に合わせるのではなく、教えに合わせて実践していく事である。

人生は与えられたものである。出自に自分の意志はない。自分の運命を自覚し、自分の心で受けて立ち、自分の責任で歩むものである。その自覚と行動しか、人間の本当の陽気ぐらしは来ないと思う。そして、その思いで行う実践の道こそが、運命を切り変えて頂く唯一の道であらう。

立教181年 こどもおちばがえり 少年ひのきしん隊 本部練成会 募集要項

少年ひのきしん隊本部練成会の熱い季節がやってきます。おちばがえりの大勢の方々をおちばで迎える少年ひのきしん隊員、只今募集中!

“人のため つくすよろこび ひろげよう”

■日程 7月30日の教区便 新千歳空港出発時刻は現在未定です
往路を各自参加の方は 7月30日14時45分 郡山詰所集合
決隊式 事前研修 お願い勤め

7月31日～8月5日 本部宿舎
8月6日 郡山詰所～関西空港⇒⇒新千歳空港

■参加費 往復 46000円(航空機利用)
※往路を各自(教会・支部・個人)の方は、帰りのみで23,000円

■持ち物 白ベースの履きなれた運動靴・白ソックス
保険証 洗面具 筆記具 着替え
※隊服2着貸与・活動用Tシャツ2着支給します

■申込みは各支部担当者を通して教区団迄
団長 久米田忠彦 080-6073-9249 Fax 0134-23-2620

支部手配り責任者の研修 会を開催させていただきます

文化広報部

日時 5月2日 午後1時30分

より午後5時頃まで

場所 教務支庁

手配りひのきしんの充実に向けて、情報交換、問題点、意見交換など致したく道友社から、実務に長けた課員に向頂き開催します。

※担当者欠席の場合、支部社友又は支部長の参加を願います。

まなびば開催のお知らせ

日時 4月21日(土) 14時集合

持ち物 着替え、洗面具、筆記用具、米3合 参加費 500円

会場 教務支庁

参加対象 高・大・専・大院

問い合わせ まなびば担当

大友善一 (TEL090-1141-7191)

※まなびばとは…向世代の仲間とグループワークやレクリエーションを通して

親睦を深め、身近なことを話し合った

り教えについて学んだり、新鮮で充実

感たっぷり時間を過ごします。

感たっぷり時間を過ごします。

新会長さん紹介

(平成30年2月26日お運び)

天塩支部

仁旭分教会(南海)

奉告祭 5月12日



岡村 ケイ子 氏 (63歳)

◎まなびばin北海道 4月21日

p.m.2時~22日 p.m.2時30分

会場・教務支庁

◎法律に関する諸問題(で)相談

の方は弁護士を紹介致します。教務支庁内の書記(渡部) までご連絡下さい。

◎手話・点字講習会

毎月1日、教務支庁にて午後6時から8時まで行います。

※雅楽練習会も併行して開催しています。(二布連)

けいごばん

◎毎月26日に本部月次祭遙拝式

をおこなっております。

是非御参拝下さい。

計報

齋藤節子様 2月16日出直 (84歳)

浪平分教会前会長 (小樽支部)

早坂カズエ様 2月12日出直 (89歳)

厚田分教会前会長夫人 (札幌東支部)

豊島ヤエ子様 1月13日出直 (89歳)

虻田分教会前会長夫人 (室蘭支部)

青塚 伸樹様 2月13日出直 (77歳)

内幌分教会会長 (倶知安支部)

「雅楽講習会のお知らせ」

今年も更なる技術力の向上と、後進の育成を目指し、学生層や勤め人の方々が参加しやすいように、5月の連休中に開催いたします。多数ご参加ください。

平成30年 5月3日(木)午後1時~

4日(金)午後2時まで

…小中学生が参加しやすい5月の連休です…

【会場】 北海道教務支庁

【対象及び課題曲】

- ・初級者 平調「越殿楽」「五常楽急」「陪臚」
 - ・中級者 太食調「合歓塩」「長慶子」「輪鼓禪脱」
- 講師は道内上級講師(6名程度)

【定員】 各管の初級、中級者それぞれ6~7名
初心者も参加歓迎

【受講費】 3,000円(宿泊、食費を含む)
小学生・中学生…1,500円

【申込み】 4月15日まで 教務支庁内雅楽会事務局
(FAX) 011-561-1190

【主催】

天理教北海道雅楽会(教務支庁内)

担当:古川慎司

電話 0144-67-8485 (FAX兼)

携帯 070-1495-4122

初心者大歓迎!



私の叔母が、昔からの教友が寝たきりで居る所に、お話しをするという「おたすけ」に出かけるのに、天理時報の記事から話題を作っているという。昨年春には、やっと起きる程だった方が、今は少しずつ動いて、笑顔で迎えてくれるようになった、と言って喜んでいました。天理時報には、そんなたすかりの元がたくさんあるのです。20年前には思ってもみなかったスマホの時代が訪れて、若者ばかりか、お年寄りまで本や活字から離れてしまい、雑誌、書店なども売り上げがガクッと落

編集後記

ちたという。むろん、天理時報も30万部を越して意気軒昂だったのは、ふた昔も前のこと、今は11万部ということで、時報手配りが10周年で、全国的に地域のようなぼくの絆をつなぐ活動として位置づけられ、もうひと巻き、ネジを巻こうとしている。北海道でも5月2日に、全道の手配り担当者が集められ、9月の教区記念祭の折には、時報普及推進大会を予定している。時代が変わろうと、教祖のひながたの中の「人間世界をたすけたい」との思いは色あせず、心から心へと伝えられると信じ

北海道教務支庁日誌抄

(2月18日~3月19日)

- 2月 18日 しらゆき会例会
- 25日 教区長会議
- 26日 本部月次祭遙拝式
- 28日 図書修理会
- 3月 3日 たすけ推進会議
- 第194回基礎講座
- 教務支庁会場
- 講師 奥村尚人先生
- 受講 3名
- (累計 8518名)
- 4日 支部長会議
- 婦人会支部主任研修会
- 任命願書発送
- 10~11日 春学事前会議
- 学生会例会
- 17~18日 布教の家退寮式
- 学生会例会
- 19日 教区報編集会議
- しらゆき会例会